

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稲置学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全 学 共 通 科 目	学 部 等 共 通 科 目	専 門 科 目	合 計		
経済学部	経済学科	夜・ 通信	68	20	64	152	13	—
	経営学科	夜・ 通信			96	184	13	—
人間科学部	スポーツ学科	夜・ 通信		—	119	187	13	—
	こども学科	夜・ 通信			154	222	13	—
人文学部	国際文化学科	夜・ 通信		—	49	117	13	—
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Webシラバスのシラバス検索にて、学部欄に「当該学科名」（共通科目は「共通」）、 キーワード欄に「実務教員」を入力し検索 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (授業科目・授業計画「シラバス検索」)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稲置学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人稲置学園 Web サイトの稲置学園の概要「学園の組織」にて公表している。
<http://www.seiryo.jp/summary/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	小川商事(株) 取締役社長	2016年6月10日から 2020年6月9日まで	組織運営体制の チェック機能
非常勤	若松梱包運輸倉庫(株) 代表取締役専務 (株)ジャストロジス ティクス代表取締役	2016年6月10日から 2020年6月9日まで	組織運営体制の チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稲置学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では、2012年度以来、毎年度『シラバス作成マニュアル』を作成し、授業を担当する全ての教員は、それに基づいてシラバスを作成している。『シラバス作成マニュアル』には、シラバスの目的をはじめ、必修・共通科目、教職関連科目及びシラバス全般の作成指針を明示し、全ての教員で共有するように努めている。</p> <p>シラバスの記載項目は、「授業意図」「科目の具体目標」「履修条件」「授業計画(予習・復習を含む)」「成績評価(方法・割合・留意事項)」「成績評価のフィードバック」「教科書・参考書」「事前事後学修の内容」「アクティブ・ラーニングの要素」「実務経験の内容」「専門ゼミナールと卒業研究」等となっており、具体的に記述するように設定している。また、記載項目については、教育改革と併せ、適宜見直しを行っている。</p> <p>シラバスは、システムで管理しており、登録後はシラバスが適正かどうか、教務部会が確認を行うようにしている。また、本学の教育内容の詳細を地域社会に発信する良い機会となることから、シラバスを当該年度の前年度末に本学 Web サイトで公開し、学生だけでなく誰でも自由に閲覧・検索できるようになっている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイトにて公表</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (授業科目・授業計画 「シラバス検索」)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学の単位認定は、各科目の到達目標に対する到達度を、それぞれの授業形態に応じた成績評価方法により点数化し、評価点が100点法に基づき60点以上であることを全学共通としている。なお、授業の欠席が3分の1を超えた場合は、原則、その科目の単位は認定されないことになっている。また、成績評価の厳正な運用のための工夫として、学生からの成績疑義申し立ての制度を設けている。成績評価について疑義や不満のある学生が、成績通知後に所定の手続きを取ることにより、教員から成績判定の内容、根拠等の説明を受けることができる。</p> <p>成績の評価は、学期末テスト、小テスト、レポート及び卒業研究等により行い、90点以上(S)、80点以上(A)、70点以上(B)、60点以上(C)、60点未満(D 不合格)の4段階となっている。</p> <p>また、他の大学等で履修し取得した単位を、教務部会、教授会の審議を経て、学長が本学の同等な内容の科目の単位として認定することができることになっている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学は、成績評価をより明確にするため、全学でGPA制度を導入している。科目ごとに評価された成績に対して、段階ごとに所定のグレードポイント(GP値)を付与し、半期ごとに個々の学生が履修登録した全ての科目(D評価の不合格科目を含む)のGP値の1単位あたりの平均(GPA)を算出したものである。S評価はGP値4、A評価は同3、B評価は同2、C評価は同1、D評価は同0、となっており、最高点は4.00(全ての履修科目においてS評価)になる。なお、派遣留学先の大学で単位を修得した科目や技能審査の単位認定した科目の成績は、GPAの対象にならない。

<GPAの計算式>

$$\frac{\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{当該科目でのGP値})\} \text{の総和}}{\text{履修登録した単位数の総和}}$$

GPAの算出、管理はシステムで行っており、全教員が学生のGPAを確認できる。また、教務課職員は、各学部・学科のGPAの分布状況も把握できるようになっている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

全学生に配付する『学生便覧』に掲載するとともに、本学Web
サイトにて公表
<http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html>(学則・学費
規程等 「学生便覧」)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学の経済学部及び人間科学部の卒業の認定方針（以下「ディプロマ・ポリシー」という。）は、2015年度に「建学の精神」及び「大学憲章」を踏まえて策定している。人文学部においては、2016年度にディプロマ・ポリシーを策定した。

各学部・学科のディプロマ・ポリシーの具体的な内容は、次のとおりである。

<経済学部のディプロマ・ポリシー>

経済学部での学修を通して以下の知識と能力を修得した学生に学位を授与します。

1. 経済事象の問題点を認識し、専門的知見を活かして分析し解決策を提案する学術活動を、卒業研究報告書と卒業研究発表会の形で表現する力が評価に値すること
2. 組織の一員としての判断力と行動力を身につけ、積極性と自律性が備わり、誠実に人と関わる人間力の向上が期待できること

○経済学科のディプロマ・ポリシー

経済学科は、経済学の学習を通じて、専門知識、課題発見力、分析解決力、行動力を身につけ、地域社会にそれらの能力を発揮できる人材育成を目指します。これらの能力は卒業後の進路を有利にするためだけではなく、将来の経営者や管理職になることを見据え、社会の様々な段階において継続的に力を発揮するために必要です。こうした観点から、卒業時に以下の点を十分に習得していることが求められます。

- ・現代の経済社会の諸問題を理解、分析するために必要な専門知識を身につけていること
- ・現実の経済社会の諸問題に対し、地域におけるビジネスや行政の場で、自分なりに課題を発見する力（発見力）、課題を分析し解決方法を導き出す力（分析解決力）、課題解決のための具体的な行動を起こす力（行動力）を身につけていること
- ・深い教養と高い倫理性を持ち、コミュニケーション力を身につけていること

○経営学科のディプロマ・ポリシー

経営学科では、経済学部のディプロマ・ポリシーに基づき、ビジネスの現場で役立つ知識と技能を身につけ、社会に誠実に対処できる人間性を兼ね備えた人材を育成します。そのために設置した学部共通科目と学科固有科目の体系的な履修を条件として、学士（経営学）を授与します。

[学位授与のため修得すべき資質・能力]

1. 常に高い倫理観、責任感、社会への貢献の意識を持つこと
2. 広範な教養の上に経営に関する専門知識とスキルを身につけていること
3. 組織の様々な場面で自ら問題を発見、分析・解決する能力を身につけていること
4. 様々な人々と共に仕事を進めることができ、その中で自らの意見を明確に述べるリーダーシップを発揮できること
5. 卒業後もおかれた環境において自ら継続的に学習を行うことができること

<人間科学部のディプロマ・ポリシー>

人間科学部での学士課程教育を通じて人間力を身につけているとともに、スポーツ学科及びこども学科において、以下の能力を修得した学生に「学士（人間科学）」の学位を授与します。

- ・スポーツ学科
スポーツ教育、スポーツマネジメント、スポーツアスリート分野における「スポーツスペシャリスト」としての専門性を身につけている。
- ・こども学科
こどもの視点に立ち、こどもの問題を考えることができる、「こどもスペシャリスト」としての専門性を身につけている。

○スポーツ学科のディプロマ・ポリシー

スポーツ学科では、高い人間性や社会性を持ち、スポーツの振興および発展に誠実に関わることでできる人間を育てるため、「スポーツスペシャリスト」としての次のような資質を備えていることが求められます。

- ・生涯にわたって心身の健康を保持増進する意識を持ち、スポーツを楽しむことができる力
- ・競技スポーツ、学校体育、地域スポーツ、アダプテッドスポーツなど様々な領域において、スポーツの経験、技能および高度な専門知識を活かすことができる力
- ・教員免許（中高保健体育および特別支援教育）や各種スポーツ指導員（健康運動指導士、日本体育協会公認指導員、障がい者スポーツ指導員など）の資格を取得し、指導の現場で活かすことができる力
- ・スポーツクラブの運営、体育・スポーツ施設の管理、プロスポーツチームの経営などスポーツマネジメントに主体的に参画できる力

○こども学科のディプロマ・ポリシー

保育や教育を取り巻く現代の諸課題と真摯に向き合い、こどもの成長・発達過程で生じる様々な事象に専門的な知見をもって対応できる「こどもスペシャリスト」としての次のような資質を備えていることが求められます。

知識・理解…

- ・「こども」概念の多義性についての基礎的な理解をもとにして、こどもの成長・発達とその課題についての実践的な知識を修得している
- ・常にこどもの立場で考える保育者・教育者として、必要な保育学および教育諸科学の専門的な知識を修得している

汎用的技能…

- ・広く豊かな発想力を持ち、グローバルな視点で物事を見通し、よりよく改善していく能力を有している
- ・地域社会の諸課題を把握し、現場において他者と適切なコミュニケーションを図りながら協働して企画、実践、評価、そして改善に取り組むことができる

態度・志向性…

- ・こどもへ深い愛情を注ぎ、共感してその成長・発達を支援しながら生きることができる
- ・常に学び続ける姿勢を持ち、自ら率先垂範して誠実に仕事に取り組むことができる

<p><人文学部国際文化学科ディプロマ・ポリシー></p> <p>人間・物資・情報の交流が地球規模で起きている現在、人文学部は次のような知識と技能と態度を兼ね備えた人材を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々と対話し、世界に向けて地域の文化を発信する英語コミュニケーション力を持つ ・自国を含む世界各地の文化に触れて、異なる生活様式や価値観を理解する ・多様な科目を学んで、時代を拓く新たな発想を展開できる知性と教養を身に付ける ・困難な課題に直面しても、論理的に考え、解決に向けて相手と粘り強く交渉する態度を養う ・学んだ知識と技能を生かし、積極的に地域社会の発展に貢献する <p>各学部・学科のディプロマ・ポリシーを踏まえて、卒業認定を行っている。卒業に係る認定基準は学則に定め、『学生便覧』及び『教員便覧』にて明記している。また、卒業に係る単位認定は、認定基準に基づき教務部会において原案を作成し、教授会、協議会の審議を経て、学長が承認する形で厳正に行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>全学生に配付している学生便覧に掲載し、Web サイトでの公開により周知している。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (入学者の受け入れに関する方針 教育課程の編成・実施に関する方針 学位授与の方針)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	金沢星稜大学
設置者名	学校法人稲置学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.seiryu.jp/disclosure/finance.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.seiryu.jp/disclosure/finance.html
財産目録	http://www.seiryu.jp/disclosure/finance.html
事業報告書	http://www.seiryu.jp/disclosure/report.html
監事による監査報告(書)	http://www.seiryu.jp/disclosure/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 学校法人稲置学園「平成30年度事業計画書」 対象年度: 2018年度)
公表方法: http://www.seiryu.jp/disclosure/4v7dh0000000291-att/4v7dh00000002gf.pdf
中長期計画(名称: - 対象年度: -)
公表方法: -

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学Webサイトにて公表 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (自己点検評価書)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学Webサイトにて公表 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (大学評価に関して)
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部 人間科学部 人文学部
教育研究上の目的 (公表方法: Web サイトにて大学憲章として公表)
(概要) 教育 「誠実な人間」をめざして人間性・社会性を磨き、「社会に役立つ人材」となるための分析力・総合力・実践力を育成するとともに、グローバルな視野を育てる教育を重視する。 1. 経済学部では、経済学系、経営学系の学問領域を根幹にすえ、全学年にわたり一貫するゼミナールを教育の柱とする。 2. 人間科学部では、スポーツ科学、こども科学の学問領域を根幹にすえ、人間力を高める「フィールド基礎演習」「フィールド演習」を教育の柱とする。 3. 人文学部では、海外留学および比較文化学系、観光学系、英語学系の学問領域を根幹にすえ、異文化理解を深めるグループディスカッションを教育の柱とする。 研究 創造的研究成果を生み出し、国際的・学際的研究に挑戦するとともに、「地域とともに歩む大学」として、地域社会の課題解決に努め、着実な研究成果を地域社会に還元する。 大学憲章 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/outline01.html
卒業の認定に関する方針 (公表方法: Web サイトにて公表)
(概要) 学部及び学科の卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) を、以下の Web ページで示している。 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (入学者の受け入れに関する方針 教育課程の編成・実施に関する方針 学位授与の方針)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: Web サイトにて公表)
(概要) 学部及び学科の教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) を、以下の Web ページで示している http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (入学者の受け入れに関する方針 教育課程の編成・実施に関する方針 学位授与の方針)
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: Web サイトにて公表)
(概要) 学部及び学科の入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー) を、以下の Web ページで示している http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html (入学者の受け入れに関する方針 教育課程の編成・実施に関する方針 学位授与の方針)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: Web サイトにて、大学基本データとして公表している。 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
経済学部	—	17人	10人	6人	1人	0人	34人
人間科学部	—	15人	7人	3人	2人	2人	29人
人文学部	—	7人	4人	1人	0人	0人	12人
教養教育部	—	8人	3人	4人	0人	0人	15人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			60人				60人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：Web サイト『教員紹介』内で教員データベースを公表 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/teacher.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>FD 活動は、学務担当副学長が中心となって年間活動計画を立案するとともに全教員に周知し、全体研修や分科会研修を組織的に行っている。</p> <p>2018 年度からは、研究科・学部・学科の FD 活動に加えて、全学の教員の代表がメンバーとなり学部横断的な課題に取り組む学部共通 FD を設定した。また、学部共通 FD の成果を次年度に生かすために 11 月に成果報告会を実施し、研究科・学部・学科の FD 活動については、次年度の全体会で成果と計画を報告することとしている。研究科・学部・学科の FD の成果については、2019 年 4 月に全体会で計画とともに発表した。</p> <p>2019 年度の FD は、学部・学科においての固有の問題を取り上げて改善・向上を図るとともに、学部・学科からの教員がメンバーとなる学部共通 FD を引き続き行っている。学部共通 FD のテーマは、ボランティア・インターンシップの単位化検討、キャリア教育科目の再検討（カリキュラムの改正）及び「基礎ゼミナール」のビルドアップの三つを設定した。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
経済学部	440人	465人	105.7%	1,640人	1,839人	112.1%	—人	6人
人間科学部	143人	151人	105.6%	526人	592人	112.5%	—人	—人
人文学部	75人	97人	129.3%	300人	226人	75.3%	—人	—人
合計	658人	713人	108.4%	2,466人	2,657人	107.7%	—人	6人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	391人 (100%)	3人 (0.8%)	364人 (93.1%)	24人 (6.1%)
人間科学部	138人 (100%)	2人 (1.4%)	115人 (83.3%)	21人 (15.2%)
人文学部	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)	－人 (－%)
合計	529人 (100%)	5人 (0.9%)	479人 (90.5%)	45人 (8.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目・授業計画 「シラバス検索」 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学則・学費規程等 「学生便覧」 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	有	年間 44 単位
	経営学科	124 単位	有	年間 44 単位
人間科学部	スポーツ学科	124 単位	有	年間 44 単位
	こども学科	124 単位	有	年間 44 単位
人文学部	国際文化学科	124 単位	有	年間 44 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : Web サイトにて、キャンパス紹介として公開している。 http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/facilities.html

⑧ 授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	690,000 円	120,000 円	330,000 円	
	経営学科				
人間科学部	スポーツ学科	750,000 円	120,000 円	360,000 円	
	こども学科				
人文学部	国際文化学科	822,000 円	120,000 円	360,000 円	

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>会計・金融、ビジネス、IT及び語学など、社会に必要な資格取得、国家試験合格のための学習支援を行っている。大学の授業と並行して受講できる日程を設定しており、また、一部のコースでは「Web学修システム」を導入し、学生が自身のスケジュールに合わせて受講できる環境を整えている。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/career/extensioncenter.html</p> <p>教員や保育士を目指す学生への教職科目等の履修指導から採用試験対策を行う教職支援センターを設置している。教育実習、保育実習及び介護等体験の調整のほか、卒業生へのサポート等の支援も行う。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/career/extensioncenter.html</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>校内での50社を超える企業が参加する業界研究会の開催をはじめ、就職ガイダンス、フェリー内で研修を行う洋上の就職合宿、グローバル人材として成長する基礎を身に付ける語学留学プログラム、オリジナルの就職支援サイトによる情報促進など、多様な支援体制を整えている。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/career/support.html</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>臨床心理士が対応する学生相談室、校内での疾病・外傷等の応急措置や健康相談を行う保健室に加え、障害のある学生のニーズに基づく必要な支援を行う障害学生支援室を設置している。また、ハラスメントの相談や申し立て等の窓口となるハラスメント相談員を設置し、学内に周知を図り、健全で快適なキャンパスづくりに取り組んでいる。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/campuslife/life.html</p>

⑩ 教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：Webサイトにて、教育に関する基本データ及び教員個々の研究業績を公表している。また、ゼミナールや学生の日々の教育研究活動についても、NEWS & TOPICSで情報を随時更新し公表している。</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/outline/data.html</p> <p>http://www.seiryu-u.ac.jp/u/new/2019/2019.html</p>
